

1. 略歴

- 1976年3月 東京大学文学部中国文学科卒業（文学士）
1978年3月 東京大学大学院人文科学研究科中国文学専攻課程修了
1978年4月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程（中国文学）～1982年3月
1979年9月 復旦大学（中国文学系、中国政府国費留学生）～1980年8月
1982年4月 東京大学文学部助手
1985年4月 桜美林大学文学部助教授（中国文学）
1988年4月 東京大学文学部助教授（中国文学）
1991年9月 東京大学より博士（文学）学位を授与される
1994年7月 東京大学文学部教授
1995年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授 現在に至る

2. 主な研究活動

a 専門分野

概要

- 概要(1) 魯迅・胡適から莫言・鄭義・高行健・韓寒・郭敬明に至る現代中国文学の研究。
概要(2) 夏目漱石・芥川龍之介から松本清張・村上春樹に至る日中両国文化人の交流、影響関係の研究。
概要(3) 香港・台湾・シンガポール・南洋における文学と地域主義との関わりに関する研究。
概要(4) 中国語圏映画の研究。

b 研究課題

c 主要業績

(1) 著書

- 共著、藤井省三、『侯孝賢の詩学と時間のプリズム』、あるむ、2012.1
共著、藤井省三、『経典と現実：紀念魯迅誕辰 130 周年国際学術研討会論文集』、杭州・西泠印社出版社、2012.3
共著、藤井省三、『不凋の花季：李昂国際学術研討会論文集』、台北・聯合文学出版社、2012.4
共著、藤井省三、『村上春樹の読みかた』、平凡社、2012.7
共著、藤井省三、『世界魯迅と魯迅世界——媒介、翻訳と現代性書写』、北京・中国伝媒大学出版社、2014.3、173-184 頁

(2) 論文

- 藤井省三、「『レキシントンの幽霊』におけるアジア戦争の記憶——村上春樹“データタッチメント”時代の終わりをめぐって」、『文学が教育にできること 読むことの秘鑰』、312-329 頁、2012.3
藤井省三、「台湾映画『海角七号』におけるメルヘンの論理——西川満の日本引き揚げ後第一作「青衣女鬼」との比較研究」、『中国 2 1』、Vol.36、135-150 頁、2012.3
藤井省三、「松本清張の私小説と魯迅「故郷」——「父系の指」から「張込み」への展開をめぐって」、『文学界』、第 66 巻第 6 号、238-251 頁、2012.6
藤井省三、「新ノーベル文学賞作家 莫言の人と文学」、『文学界』、66 巻 12 号、270-277 頁、2012.12
藤井省三、「侯孝賢が台湾百年史映画を創る時：『百年恋歌（最好的時光）』における歴史の記憶」、『侯孝賢の詩学と時間のプリズム』前野みち子・星野幸代ほか編、あるむ、2012.1.31 第 1 刷、35-59 頁、2013
藤井省三、「台湾電影『海角七号』中の童話理論——和西川満日本撤退後第一作「青衣女鬼」的比較研究」、『文史台湾学報』第四期、2012 年 6 月、9-23 頁、台北・国立台北教育大学台湾文化研究所、燕路訳。
藤井省三、「魯迅戀愛小説における空白の意匠：「愛と死（原題：傷逝）」と森鷗外「舞姫」との比較研究」、『東方学』東京：東方学会、125 輯、2013 年 1 月、1-20 頁
藤井省三、「文化大革命を“活きる”：余華の小説『活きる』と張芸謀の映画『活きる』」、野崎歓編『文学と映画のあいだ』、東京大学出版会、129-147 頁、2013 年 6 月
藤井省三、「松本清張の初期小説《父系之手指》与魯迅作品《故郷》——從貧困者“棄”郷的“私小説”到推理小説的展開」、林敏潔訳、『魯迅研究月刊』2014 年第 3 期、全 383 期、24-33 頁、41 頁

(3) 書評

- 長堀祐造、『魯迅とトロツキー：中国における『文学と革命』』、平凡社、『東方』、374 号、28-31 頁、2012.4

- 王小波著、桜庭ゆみ子、『黄金時代』、勉誠出版、『みすず』、第55巻第1号、3-4頁、2013.1
- 莫言著、『天堂狂想歌』、原題：『天堂蒜薹之歌』、吉田富夫訳、中央公論新社、共同通信社配信、大分合同新聞（朝刊）2013年5月26日ほか
- 二〇一三年読書アンケート 『みすず』東京：みすず書房第55巻第1号、2013年1・2月、3-4頁
- 沈從文著、『辺境から訪れる愛の物語』、小島久代訳、勉誠出版、『北海道新聞』2014.2.23
- 余華著、『血を売る男』（原題：許三觀売血記）、飯塚容訳、『日本経済新聞』『日経』2014.3.2

(4) 学会発表

- 国際、藤井省三、「『Lexington の幽霊』におけるアジア戦争の記憶——村上春樹“デタッチメント”時代の終わりをめぐって」、南開大学外国語学院日語文学科創立四十周年記念「東アジア文学と文化の交流」国際学術シンポ、天津・南開大学、2012.9.9
- 国際、藤井省三、「松本清張（Seicho Matsumoto）の初期小説《父系之手指》与鲁迅作品《故郷》：従貧困者“棄”郷的“私小説”到推理小説《埋伏》的展開」、国際魯迅研究会与中国伝媒大学文学院連合主催「国際魯迅研究会第一屆学術論壇：北京論壇」、北京・中国伝媒大学文学院、2012.11.10
- 国際、藤井省三、「村上春樹と中国：『ノルウェイの森』から『1Q84』まで」、第12回桜美林大学・北京大学学術シンポジウム、桜美林大学多目的チャペル(桂冠堂)、2012.12.15
- 国際、藤井省三、「Natsume Soseki 夏目漱石, Lu Xun 魯迅, and Murakami Haruki 村上春樹：A Genealogy of the Ah Q 阿Q Image in East Asian Literature」、WLin T/東京世界文学会議 World Literature and Japanese Literature in the Era of Globalization、東京大学山上会館、2013.3.3
- 国際、藤井省三、「魯迅恋愛小説中の留白匠意：《傷逝》与森外《舞姫》の比較研究」、国際魯迅研討会、南京師範大学、2013.3.23
- 国際、藤井省三、「莫言文学在日本的翻譯与伝播」、跨文化視閥中的当代華語文学国際学術研討会、南京師範大学文学院、2013.6.7
- 国際、藤井省三、「魯迅恋愛小説における空白の匠意：『愛と死（原題：傷逝）』と森外『舞姫』との比較研究」、日本文化シンポ、四川外語大学、2013.10.18
- 国際、藤井省三、「村上春樹“超然”時代的終結——以《列克星敦的幽霊》中東亞戰爭的記憶為中心」、流轉中的文學——第十屆東亞學者現代中文文學國際學術研討會、香港教育學院 Council Chamber、2013.10.25

(5) 会議主催(チェア他)

- 国際「東大中文・台大台文所共催東アジア文化ワークショップ」、主催 東京大学山中寮 東京大学文学部 2012.7.30～2012.8.3
- 国際、「東アジアにおける魯迅「阿Q」像の系譜」、主催、東京大学山上会館、2012.11.23～2012.11.24
- 国際、「第4回東京-ソウル現代中国文学ワークショップ」、その他、韓国・ソウル・高麗大学、2012.12.27～2012.12.28
- 国際、「名古屋シンポジウム「分裂の物語・分裂する物語——漂泊する叙事 1940年代中華圏における文化接触史——」科研費基盤研究(B)「漂泊する叙事 1940年代中華圏における文化接触史」、セッション1「再構築される分裂の記憶」チェア、台湾・財団法人自由思想学術基金会/神戸大学主催、名古屋・愛知大学車道校舎コンベンションホール、2013.8.3～2013.8.4
- 国際、「日台作家東京会議」、主催、東京大学山上会館、2013.11.15～2013.11.16
- 国際、「現代東アジア文学史の国際共同研究」ワークショップ、主催、東京大学文学部、2013.12.22～2013.12.23
- 国内、「日本中国学会秋田大学大会文学・語学部会」チェア、2013.10.5

(6) マスコミ

- 「学生に託した日中文化交流 中国作家・謝冰心の東大講師時代」、『朝日新聞 夕刊』、2012.7.17
- 「中国の村上春樹作品翻訳に新動向／『1Q84』機に変化／民主化とも関わり」、『毎日新聞 夕刊』、2012.8.23
- 「中国農村の現実描く」、『信濃毎日新聞ほか、共同通信配信』、2012.10.12
- 「莫言氏ノーベル賞／農村からの魔術的リアリズム」、『朝日新聞 朝刊』、2012.10.16
- 「温泉大好きの日知派／莫言氏のノーベル文学賞受賞に寄せて」、『公明新聞』、2012.10.21
- 「中国のポスト『1Q84』」、『文藝春秋』、2012.11
- 「海外文学 中国文学」、日本文芸家協会編『文芸年鑑2013』、106-109頁、2013年6月
- 「人民共和国の文学における「娼婦」の消失と復権——魯迅、趙樹理から高行健、莫言、韓寒まで」、扶桑社『en-taxi』39号、2013-7、34-37頁
- 「莫言と村上春樹チルドレン——現代中国文芸界をめぐって」、『善隣』2013年2月号、428号、2-9頁

(7) 翻訳

共訳、董啓章、"地図集"、藤井省三、『地図集』、河出書房新社、2012.2

個人訳、莫言、"在毁灭中反思"、藤井省三、『壊滅の中での省察』、『文藝春秋三月臨時増刊』、東京・文藝春秋、2012.3

個人訳、董啓章、"未来的考古学"、藤井省三、『未来の考古学—今、香港で書くこと』、『文芸』、第52巻第1号、262-271頁、河出書房新社、2012.3

個人訳、莫言、"透明的紅蘿蔔"、藤井省三、『透明な人參：莫言珠玉集』、東京：朝日出版社、2013.2

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、山東師範大学日語系、「村上春樹と中国」、2012~

特別講演、台湾大学文學院台湾文学研究所白先勇講座、「現代日本文學與魯迅」、2012.2~2012.3

特別講演、台湾大学台湾文学研究所、「台日比較文學」、2012.2~2012.3

セミナー、東京・徳紘社、「白先勇短篇集『台北人』を読む——上海“ノスタルジー”と現代台北」、2012.5

セミナー、朝日カルチャーセンター新宿校、「香港の中国帰帰 15 周年を読む——董啓章『地図集』を中心に」、2012.6

委嘱教授、朝日カルチャーセンター新宿校、「映画『セデック・バレ』：日本人と台湾先住民をめぐる記憶——『海角七号』との比較研究」、2012.8~

特別講演、南京大学文學院、「松本清張の初期小説《父系の手指》：与魯迅作品「故郷」——圍繞貧困者“棄”郷の私小説到推理小説「跟踪」的展開」、2012.9

特別講演、南京師範大学文學院、「魯迅与日本文学：從夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介到松本清張、大江健三郎、村上春樹」、2012.9

特別講演、南京師範大学日語系、「魯迅と日本文学、百年の交流：夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介からの影響、太宰治、大江健三郎、松本清張、村上春樹への影響」、2012.9

特別講演、南京大学文學院、「村上春樹“超然”時代的終結：以《列克星敦的幽霊》中東亞戦争の記憶爲中心」、2012.9

特別講演、南京師範大学日語系、「日中比較文学研究とは何か：魯迅「故郷」を例として」、2012.9

特別講演、山東師範大学文學院、「魯迅与日本文学：從夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介到太宰治、森鷗外、大江健三郎、村上春樹」、2012.9

特別講演、中国伝媒大学文學院、「魯迅与日本文学：從夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介到太宰治、森鷗外、大江健三郎、村上春樹」、2012.11

セミナー、朝日カルチャーセンター新宿校、「魯迅と松本清張」、2012.11~2013.12

特別講演、中国・徐州師範大学、「魯迅誕辰 130 周年在日本」、2012.12

特別講演、南開大学中文系、「魯迅与日本文学」、2012.12

特別講演、南開大学日語系、「村上春樹と中国」、2012.12

特別講演、東京・国際善隣協会、「莫言と村上春樹チルドレン——現代中国文芸界をめぐる」、2012.12

特別講演、韓國臺灣香港海外華文研究會、「魯迅与日本文学：從夏目漱石、芥川龍之介到松本清張、大江健三郎、村上春樹」、2012.12

特別講演、南京師範大学日語系、「村上春樹と中国」、2013.3

セミナー、北京日本文化中心多機能庁、「靈魂的來往之路：与施小偉、止庵鼎談」、2013.3

セミナー、上海書城、「当我们談村上文学時我們談些什麼」、2013.3

セミナー、朝日カルチャーセンター横浜校、「ノーベル文学賞作家 莫言の人と文学」、2013.4.20

特別講演、香港教育學院、「魯迅與日本文學——從夏目漱石、芥川龍之介到松本清張以及村上春樹」、2013.4.29

特別講演、香港教育學院、「也斯在日本／村上春樹在中國香港台灣」2013.5.3

特別講演、香港教育學院、「村上春樹《挪威的森林》與王家衛《阿飛正傳》」、2013.5.8

セミナー、かわさき市民アカデミー講座 12 村上春樹を知る、「中国語圏における村上春樹」、2013.6.5、6.12

特別講演、南京師範大学外国語學院日語系「魯迅日本語訳における domestication(帰化)と foreignization(異化)——「故郷」を例として」、2013.9.3

特別講演、南京師範大学文學院「村上春樹と中国・香港・台湾」、2013.9.5

特別講演、南京師範大学外国語學院日語系「魯迅と日本文学、百年の交流——夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介からの影響、太宰治、大江健三郎、松本清張、村上春樹への影響」2013.9.9

特別講演、四川外語大学「村上春樹与中国以及鲁迅——從《且听風吟》到《1Q84》」、2013.10.20

特別講演、厦門大学中文系「鲁迅与日本文学——從从夏目漱石、森鷗外、芥川龍之介到太宰治、松本清張、大江健三郎、以及村上春樹」、2013.11.19

セミナー、慶應義塾大学日吉電影節 2013『紅いコーリャン』上映・シンポジウム、鼎談、2013.12.18

(2) 学会

国内、日本台湾学会理事、1999～

国内、日本中国学会理事、2005～

国内、東方学会、学術委員、2012.4～

国内、日本ペンクラブ獄中作家・人権委員会委員、1998～

国際、東亜現代中国文学国際学会連絡員、1999～

国際、国際鲁迅研究会副会長、2011～

(3) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

教育機関、慶應義塾大学文学部、博士論文(長堀祐造)審査委員会委員、2012～

教育機関、黒竜江大学日語専業、客座教授、2012.3～

教育機関、静岡大学人文社会科学部/研究科 外部評価委員、委員、2012.4～2013.3